

令和6年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 藤松 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和6年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動と一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

〔8種目〕 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

※ 本校の5年生は単学級ですので、個人が特定されないことがないよう、公表の方法について配慮しています。

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市の実技調査の結果

<男子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
本市	15.98	19.39	34.42	40.27	49.36	9.54	150.13	21.81	53.10
本校全国平均以上の種目	○		○	○	○				○

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92
本市	15.88	18.39	38.51	38.13	38.67	9.79	142.58	13.44	54.32
本校全国平均以上の種目	○	○			○			○	

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析
学習面においては「体育の授業は楽しい」と感じている児童は多く、「体育の授業に進んで参加する」も男女ともに90%を超えている。ICTを活用することによって授業の中で、できたり、わかったりする経験をした児童の割合も高い。生活面では地域のスポーツクラブ等に所属し、土日に運動をする児童が多い。一方で「朝食を毎日食べる」については男子は50%、女子は60%と全国平均と比べて差が大きく、家庭とも協力し、望ましい生活習慣について指導していく必要がある。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科（授業）に関する取組（全校で・学年で・学級で）

・全学級で、ICTの活用を進め、体育「好きっちゃプログラム」を基にめあて、ふりかえり活動の充実を図る。 ・養護教諭や児童会活動を通して、各学年段階に応じた保健指導や保健授業による生活習慣の改善を促す。

② 運動習慣等に関する取組（1校1取組）

・前期と後期にそれぞれ1回ずつ、新体力テストを計画し、児童がより体力の高まりを感じたり、目標をもって運動に取り組んだりできるようにする。 ・家庭教育学級や学校通信を通して、保護者・地域へ児童の健康や運動に関する情報を発信していく。
--